

## グループディスカッション ワークシート（要点まとめ）グループ名:E

【テーマ】「大人から子どもまで障害のある方を理解し支え合う武蔵野市を目指して  
～実現のために自立支援協議会ができること～」

### ワーク1：「各部会の活動報告を受けて」

- ・テーマが大きい。具体的にどう進めていけばいいのかと感じた。
- ・地域移行部会は具体的な動きがあって来年度以降の動きが楽しみだと感じた。
- ・他の部会の課題等が見えて、面白いと感じた。当事者部会の動きも気になった。
- ・他の部会の動きを知り、住まい部会も頑張ろうと思えた。
- ・相談支援ネットワーク部会は地域移行支援のように経験の長い部会に比べると、浅いので、いかに課題へ取り組んでいくかが難しいと感じた。

### ワーク2：「今後の協議会活動に向けて（課題と目標）」

ワーク1を踏まえ、今後本協議会が取り組むべき課題と目標などを意見交換する

- ・障害者を取り巻く制度は整ってきたが、20～30年前と社会は変わっていない感じがする。しかし、障害に対するイメージは以前より悪くはない気がする。
- ・障害者に関する仕事をしなければ、障害者のことを知ろうとは思わなかった。自分の生活に身近でない方への興味は少ない方が多い。また、障害がない方は、障害者のことを考える余裕はないのではと感じている。両者がいかに接点を持ていくか、また、障害の有無に関係なく接点を持てるような枠組みを広げられるとよい。部会ではそういう活動ができるとよい。
- ・障害があることを伝えると、相手がどう対応してよいか迷うのではと思い、無意識に付き合う範囲が狭まってしまっている。就労移行支援を利用して就職した場合でも、“一般”の輪からは孤立しているように感じる。
- ・障害者自身が、無意識のうちに壁を作っているとも感じる。支援学校等は障害種別ごとに分かれてしまい、そのようなデメリットもあると感じる。
- ・当事者としては、障害がない方にはなかなか理解してもらえないと感じている。自分の障害を理解してもらえるよう伝えることは難しい。理解してもらうためには発信が大事だがどうしたらよいか。
- ・精神障害は、外見では障害とわからないことも多く、“変な人がいる”という見方をされることがある。自分を恥じる方が多く、声をあげない方が多い。
- ・精神障害は誰でも起こりうることである（当然発症することもある。ストレス解消が大切）と広めていくための活動が幼少時からできると良い。
- ・正しい障害特性等を理解されていないように感じる（甘え、ふざけている等に捉えられやすい）。
- ・障害ではなく、人を見ることが大事。支援者にも必要なことであると感じる。

- ・当事者部会の話にあったようなふれあいカフェ等のイベントの他、就職している方でも参加できるような土日の居場所づくり等、地域の人とゆるく繋がれる居場所づくりができるといい。
- ・障害種別でなく誰もが行ける居場所があるといい。スタッフのマンパワーの問題や人材育成を誰がどう行うか等も考えることが重要。そのためには市の予算を確保し、運営できるような体制づくりも大切。
- ・餅つき大会等一緒に参加でき楽しめるイベントがあるといいのでは。障害の有無にかかわらず、幼少時の頃から一緒に参加できる楽しい思い出があると理解や偏見がない社会につながるのでは。